

博打長者・仁多郡奥出雲町下阿井

令和4年4月26日

収録・解説・酒井 董美^{たもと} イラスト・福本 隆男語り手 井上掬結さん（明治19年生まれ）
収録・昭和46年5月30日

あらすじ

昔、山に博打うちが上がり、サイコロを転がし唱えます。面白い、唐天竺一目に見える。天狗さんが上を通られまして、わしは天へ上がるが唐天竺一目に見たことはない。天狗さんは、それで唐天竺が一目に見えるか」「たしかに見えます。」「わしも貸せてごらんか。」「あなたの宝と交換しましょう。」

「何がほしいか。」「隠れ蓑に隠れ笠、生き棒死に棒をお願いします。」「ああ、やるよ。まえがまくっているものをわしにくれ……」その前に天狗さんが聞きます。「おまえは何が一番恐ろしいか」と。「餅が一番こわいです。」博打うちは天狗さんに、「あなたは何かが一番こわいか。」「カラタチ藪が一番恐ろしい。」天狗さんは後でサイコロを

まくって、博打うちが言い出したように、「唐天竺一目に見える」とサイコロを投げても何も見えません。「だまされた。あれを征伐する。」

下界へ降りて、博打うちの家へ行ったところ、博打うちは天狗がカラタチの藪が恐ろしいと言っていたから、カラタチ藪の中へ飛び込んだので天狗は中へ入れません。「餅が一番こわい」というから、餅を投げてやろう」と、餅をこしらえて天狗は投げます。博打うちは、「やれこわい。腹一杯」。また投げてやりませぬ。何回投げても、「腹一杯。腹一杯」です。

博打うちは、隠れ蓑に隠れ笠、生き棒死に棒をもらい旅に出かけます。

あるところに戦いがあり、敵もさるもの、よく征伐しませんが、困っておるところへ博打うちは、隠れ笠に隠れ蓑を着とるですから、人間の姿は見えませんが、「たやすこ」とだ。すぐ殺してあげる」言

う。「妙なことを言う者がおる。それならばあの大敵を殺してごせ。」博打うちは敵のそばへ行き、死に棒を当てますとす

ぐ死にまして、やあ、大勢は大喜び。

その博打うちは金銀たくさんにもらいました。また旅をやる間に、また戦いをやっております。死んではならん者が死んで医者を迎えても効果がありません。また博打うちは隠れ笠に隠れ蓑を着て、の死んだ人のそばへ行き、今度は生き棒を持ってさわりますと、元気な身体になりました。大勢の者は、その家は大喜びです。

また博打うちは隠れ笠に隠れ蓑を脱ぎまして正体を現し、たいへんなもてなしをいただき、博打うちは長者になりました。

昔より博打うちはだますこともあり、うっかりとは付き合われんが、よく注意して交際することを将来考えねばならんぞよ。それこぼし。

解説

この話は関敬吾『日本昔話大成』の話型では、笑話の中の「隠れ蓑笠」に分類されている。山陰地方でもなかなか見つからない話である。それが中国山地の中でこのようにひっそりと息づいていた。

（元島根大学法文学部教授）

